

超速硬性コンクリート用パック詰め ジェットパック

ジェットパックとは

現在、超速硬コンクリートの現場練りには、単位水量、骨材、現場計量の手間など様々な問題があります。これらの問題を一挙に解決するために使用材料のすべてを吟味・計量済のパックにしたものが「住友大阪のジェットパック」です。

ジェットパックの特長

- ジェットパック用に厳選吟味された各材料は計量・包装されていますので、計量の手間が省け、品質が安定します。
- 1セットあたりの練上り量は約25リットルです。
- 3時間で 24N/mm² 以上の強度が得られます。(20°C室内試験)
- 長期にわたって安定した強度を示します。
- 浮き水（ブリーディング）がほとんどなく打設後沈下がありません。

ジェットパックの用途

マンホールの嵩上げ・側溝工事
 上下水道・配管、配線工事
 機械等の据付工事等の緊急工事
 家庭用（園芸、土間、各種補修）等・
 その他緊急を要する諸工事



※製品容器は製造工場により多少異なっています。上記写真は一例です。また今後、製造の都合等により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

被膜養生剤



スミセエスシー

プライマー



ライオンボンダ

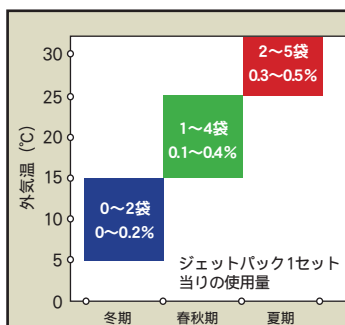
ジェットパックの標準配合例

配合 (kg)	パック-1		パック-2	パック-3			練上り量 (ℓ)
	セメント	細骨材	粗骨材	水	減水剤	遅延剤 (添付)	
袋	27		28		3.8		約25

● 使用条件・保存状態により、スランプが変動します。ジェットパックの推奨水量は3.8kgですがスランプ変動に対応するため、パック3には4kgの水量が入っています。試し練りに水量決定を行ってご使用ください。

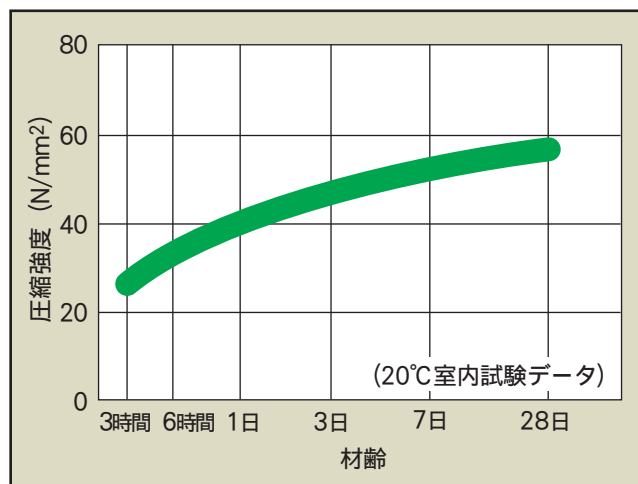
● ジェットセッターは外気温に応じてパック3にあらかじめ適量を添加してください。

ジェットセッター(遅延剤)の外気温別の添加率



※ジェットセッターを使用することにより、ハンドリングタイム（可使用時間）を調節することができます。グラフを参考に、外気温に応じたジェットセッター量を試し練りにより確認してください。
 ※パック-3に同梱されているジェットセッター以外に別売もごさいます。

ジェットパックの材齢と圧縮強度の関係



施工手順

使用材料

ジェットバック
 バック1：ジェットセメント+細骨材
 バック2：粗骨材
 バック3：水+混和剤+ジェットセッター

被膜養生剤：スミセエスシー
 プライマー：ライオンポンドA

※スミセエスシー、ライオンポンドAは2~3倍希釈でご使用ください。

打込み

- 旧コンクリートの下地処理は十分に行ってください。打ち込んだコンクリートの水分が型枠・旧コンクリートなどに吸われることがないように打ち水、もしくはプライマー処理・ブラスト処理等を行ってください。
- パイブレーターで十分に締め固めてください。
- ジェットバックは硬化が速いので、作業が中断しないようにしてください。
- 多層打ちを避けて、一層打ちにし、打ち継ぎ目を作らないようにしてください。
- 硬化しかかったモルタル・コンクリートに、水を加え練り返して使用しないでください。

準備

- コンクリート用強制練りミキサー、または傾胴式ミキサー等。
- 計量容器、ハカリ、コンクリート受皿
- 内部振動式パイブレーター
- スコップ、木ゴテ、金ゴテ
- 養生剤・養生マット・養生シート等

※硬化が早いため道具を多めに用意してください。

表面仕上げ

- 施工可能時間は、ジェットセッター添加率により変わりますが、およそ20~30分ですので表面仕上げは早い時期に行ってください。表面仕上げ終了後、できるだけ早い時期に被膜養生剤（スミセエスシー）を噴霧器等で、均一に散布してください。
- 表面仕上げを行う際に、モルタル・コンクリート表面に水・混和剤をかけないでください。

養生

環境条件の違いによる養生方法の組合せ例

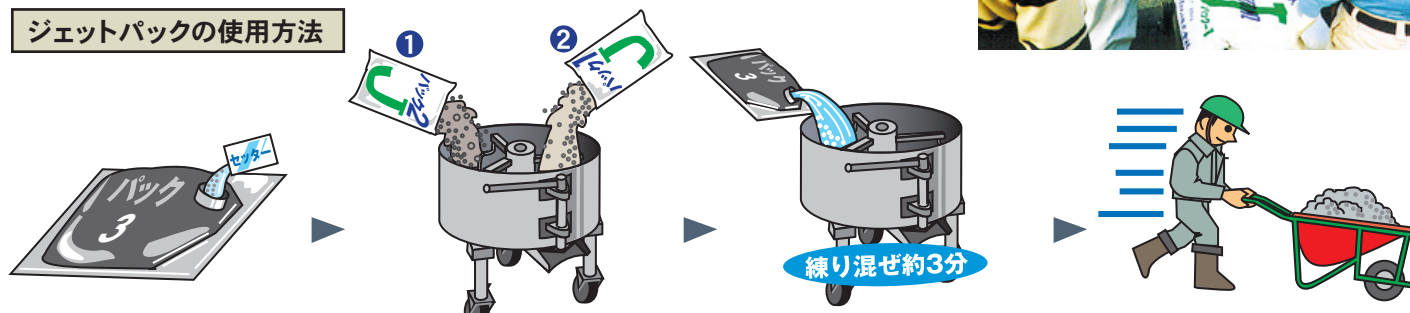
環境条件	10℃以上	5℃~10℃	5℃以下
養生方法	皮膚養生	皮膚養生	皮膚養生
	↓	↓	↓
保温養生	保温養生	保温養生	保温養生
	↓	↓	↓
シート養生	シート養生	シート養生	シート養生
	↓	↓	↓
加温養生	加温養生	加温養生	加温養生
	↓	↓	↓
後養生	後養生	後養生	後養生
	↓	↓	↓
	供 用 下		

保温養生：保温マット等による養生
 シート養生：不透水性シートによる養生
 加温養生：ジェットヒーター・電気毛布等による養生

- 養生は原則、施工後3時間以上行ってください。
- 養生中のモルタル・コンクリートには、散水等を行わないでください。
- 加温養生を行う際はモルタル・コンクリートに直接熱源や風を当てるとひび割れの原因となりますので、必ずシート養生を行ってから実施してください。



ジェットバックの使用方法



ジェットセッター（遅延剤）の投入

- 外気温に応じてバック-3にジェットセッター（遅延剤）を投入し、ふたをして、バック-3をよく振って、よくかき混ぜ溶解してください。

バック-2、バック-1をミキサーへ投入

- ミキサーにバック-2、バック-1の順に開封投入します。なお、ミキサーはコンクリート用強制練りミキサーまたは傾胴式ミキサーをご使用ください。
 ※モルタルミキサーは使用しないでください。

バック-3をミキサーへ投入後、練り混ぜ

- バック-2、バック-1の投入後、ミキサーにバック-3を投入し約3分間練り混ぜます。

練り上がり

- ジェットバック1セットあたりの出来上がり量は約25リットルです。直ちに施工箇所に打ち込みます。

暑中対策

- 材料温度が高いと練り上がり温度が上がります。急激な硬化の原因となりますので以下の処置を行ってください。
- 材料は直射にあたらないように保管してください。
- 外気温が30℃を超え、練り上がり温度が35℃を超えると予想できる場合は、冷水等を使用し練り上がり温度が35℃を超えないようにしてください。
- 打設後の養生は直射、風等による乾燥がおこらないよう施工後すぐにシート養生等を行ってください。

寒中対策

- 氷雪のついてる材料は、そのまま使用しないでください。
- 打ち継ぎ目のコンクリートが凍結している場合は、適当な方法でこれを溶かし、打ち継いでください。
- 材料を加温する場合は、水または骨材を加温するのが効果的です。
- 材料を加温した場合、モルタル・コンクリートの性状が異なる場合がありますのでご注意ください。
- 型枠の取り外し時は、打設箇所の温度を急激に低下させないようにしてください。

使用上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。直接、皮膚に触れたり、目に入らないようにしてください。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防護眼鏡等を必ず着用してください。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流してください。
- セメントの容器（袋）は完全防水仕様ではありませんので、保管は屋内で行ってください。屋外に仮置きする場合は、パレット等でかさ上げし防水シートで覆ってください。開封したセメントは、なるべく早く使用してください。
- 他のセメントと混ぜないでください。

物性値の詳細については、当社試験成績表等をご参照ください。
 使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
 本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京	〒102-8465	東京都千代田区六番町6番地28	電話 03(5211)4752	Fax 03(3221)5624
大阪	〒530-0004	大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)	電話 06(6342)7704	Fax 06(6342)7708
札幌支店	〒060-0003	札幌市中央区北3条西2-10-2(札幌HSビル10F)	電話 011(241)3901	Fax 011(221)1017
東北支店	〒980-6003	仙台市青葉区中央4-6-1(SS30 3F)	電話 022(225)5251	Fax 022(266)2516
北陸支店	〒920-0849	金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)	電話 076(223)1505	Fax 076(223)0193
名古屋支店	〒450-0003	名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)	電話 052(566)3202	Fax 052(566)3273
四国支店	〒760-0033	高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)	電話 087(851)6330	Fax 087(822)6870
広島支店	〒732-0827	広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)	電話 082(577)7645	Fax 082(577)7646
福岡支店	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)	電話 092(481)0186	Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は